7月2日　御嶽山開山に向けた登山道整備を実施

【木曽森林管理署】

7月2日長野県木曽郡王滝村の王滝口と木曽町三岳の黒沢口の両登山道において、木曽御嶽奉仕会が主催、NPO法人木曽ユネスコ協会が共催する登山道整備が行われました。参加したのは奉仕会、御嶽山信仰者、長野県木曽地域振興局、木曽町、王滝村、森林管理署等で王滝口が80名、黒沢口は40名の総勢120名が参加しました。

今年は王滝口が21回目、黒沢口は20回目となりました。

王滝口の作業に先立ち奉仕会の池田聡寿会長から「今年も登山道整備ができ大変有難い。御嶽山（おやま）を皆で守っていく魂が千年後も続くことを祈りたい。」と挨拶がありました。

王滝口では登山道入口にあたる田の原駐車場付近から約1・5km先の大江権現までは排水溝にたまった砂泥や落ち葉の除去作業や、登山道脇にある笹や雑草の刈払い、八合目から剣ヶ峰にかけては、階段の整備や登山道脇の安全ロープの張り直しや案内看板の設置等が行われました。

王滝頂上付近での階段整備

参加者からは、「毎年この登山道整備には東京から参加させてもらっている。整備された登山道を安全、安心して登ってもらえればとても有り難い。また、来年度も参加したい。」などの声が聞かれました。

御嶽山（3.067メートル）は日本百名山の一つで、日本の高い山ランキングでは14位です。

礼拝所付近での横断溝整備

また、独立峰としては富士山に次いで2番目に高い山です。

近年の登山ブームもあり、海外を含む大勢の皆さんが登られています。昨年度王滝口からの登山客は約1万4千人と噴火による入山規制解除後は年々増加しておりますので皆さんもぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

なお、登山の際には、最新の火山観測データや立入規制情報、気象情報等を確認し、安全に登山をしてください。